

お知らせ



- 通学用バッグは、ランドセルでなくてもかまいません。
- 「式服」は、白と黒である必要はありません。
- ※ くわしくは、後ほど学校ホームページの「保護者の皆様へ」のページをご覧ください。

豊見城市立ゆたか小学校



令和6年度

学校経営説明会

令和6年4月28日（日）

豊見城市立ゆたか小学校

本日の内容



はじめに（教育基本法）

- 1 学校経営（グランドデザイン）について
- 2 学校経営（具体的な取り組み）について
- 3 高学年での学年担任制について
- 4 お礼 と 協力依頼

はじめに（教育基本法）

家庭教育

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について
第一義的責任を有するものであって、生活のために
必要な習慣を身に付けさせるとともに、**自立心**を育成し、
心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は・・・（略）

はじめに（教育基本法）

学校教育

第六条 法律に定める**学校は、公の性質を有するものである**て、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。

2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で**必要な規律を重んずる**とともに、**自ら進んで学習に取り組む意欲を高める**ことを重視して行われなければならない

はじめに

家庭、学校、その他（地域等）で

協力・分担して、

児童の健全育成を図ることができればと考えています。

1 学校経営（グランドデザイン）について

社会で求められる人物像が変化している

- 少し前まで
あいさつができて、我慢強くて、協力ができる [集団の一員]
- 今
自分で考えて行動できる、自己決定ができる [主体性]
変化に対応できる

それを受けて、学校でも

- 児童の主体性や個性（多様性）を大切にした教育を行う必要

1 学校経営（グランドデザイン）について

令和6年度ゆたか小学校グランドデザイン（全体構想図） 全教職員参画の学校経営

教育目標

ゆめに向かって たくましく がしこく生きるゆたかっ子の育成



めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

～自他を尊重し、情報を比較整理し、最適解を見いだそうとする児童～

第1期
出会い・希望
めあて・見通し

児童が主語の学校

次へつながらR-PDCAサイクル

第4期
成長・感謝
振り返り

「ポジティブな行動支援」の考え方を活かした指導・支援

認め合う学級風土づくり

自他を尊重	情報を比較整理	最適解を見いだす
<ul style="list-style-type: none"> 自分を肯定する。 自分の意見や考えを持つ 他者を肯定し、意見や考えを尊重 	<ul style="list-style-type: none"> 自他の意見や考え、周りの状況、様々な情報を材料に、根拠を持って 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの最適解を見だし、 行動する
<ul style="list-style-type: none"> 共感的人間関係と支持的風土のある学級経営（QJ、アセスの活用） 自己肯定感を高める支援・指導 わからないと言え、失敗しても再挑戦できる風土 子供が主体的に企画運営する特別活動（学校行事、委員会活動、学級活動等） 互いのちがいを認め合う人権教育 命を守る危機回避能力を養う安全教育 ICT機器活用の知識・技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に向かう姿勢 「身につけさせたい力」を踏まえた授業 教科等横断的な能力ある教育課程の工夫 わかる・できる・楽しいUDLの考え方を活かした授業 授業指導（言の葉いわ）の充実 主体的・対話的で深い学び（協働的な学びと個別最適化学び） 学校や地域を大切に思い貢献する心を育てる学習活動の工夫 効果的にICT機器を活用した学び 	<ul style="list-style-type: none"> 主体指導の実践上の視点（4つ）を活かした授業づくり、教育活動 自己存在感の感受・共感的な人間関係の育成 自己決定の場の提供・健全・確かな風土の醸成 最適解をもって課題解決に向かう授業づくり 振り返りから新たな問いが生まれ、次の学びへつながら授業づくり 学びが成長に役立つことを実感する授業づくり（+17教育の視点、+17PA「ま」活用） SDGsの視点を取り入れた授業づくり 自学自習力を育む授業と家庭学習の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 早寝・早起き・朝ごはん 主体的な家庭学習の取り組み 子供応援サポーターの推進（保護者の積極的参加） 	<ul style="list-style-type: none"> 明るいまいる、てくてく登校 授業参観、学校公開、情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育資源の計画的・効果的な活用 PTAとの連携

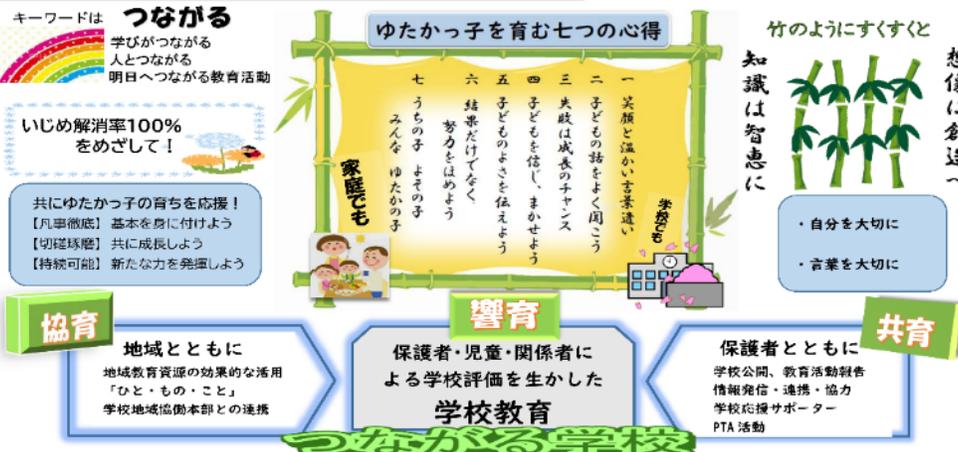
学び・仲間・地域とつながる
単元授業のマホジメント

第2期
挑戦
自力解決

授業・体験活動・行事で育てる

第3期
協働
対話

和顔愛語：支持的風土に満ちた居心地のよい学級づくり 率先垂範：教師は最大の「教育環境」



(上段)

(中段)

(下段)

1 学校経営（グラウンドデザイン）について（上段）

令和6年度ゆたか小学校グラウンドデザイン（全体構想図）

全教職員参画の学校経営

教育目標

ゆめに向かって たくましく かしこく生きるゆたかっ子の育成



めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

～自他を尊重し、情報を比較整理し、最適解を見いだそうとする児童～

第1期

児童が主語の学校

第4期

学校経営（グラウンドデザイン）について（中段）

第1期
出会い・希望
めあて・見通し

第4期
成長・感謝
振り返り

次へつながるR-PDCAサイクル

「ポジティブな行動支援」の考え方を活かした指導・支援

認め合う学級風土づくり

学び・仲間・地域とつながる
単元・授業のマネジメント

	自他を尊重	情報を比較整理	最適解を見いだす
めざす子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を肯定する。 ○自分の意見や考えを持つ ○他者を肯定し、意見や考えを尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の意見や考え、周りの状況、様々な情報を材料に、根拠を持って 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの最適解を見だし、 ○行動する
取組の重点	<ul style="list-style-type: none"> ○共感的人間関係と支持的風土のある学級経営（QU、アセスの活用） ○自己肯定感を高める支援・指導 ○わからないと言える、失敗しても再挑戦できる風土 ○子供が主体的に企画運営する特別活動（学校行事、委員会活動、学級活動等） ○互いのちがいを認め合う人権教育 ○どこでもだれでも一貫した特別支援教育 ○命を守る危機回避能力を養う安全教育 ○ICT機器活用の知識・技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に向かう姿勢 ○「身につけさせたい力」を踏まえた授業 ○教科等横断的な魅力ある教育課程の工夫 ○わかる・できる・楽しいUDLの考え方を活かした授業 ○語彙指導（言の葉たいむ）の充実 ○主体的・対話的で深い学び（協働的な学びと個別最適な学び） ○学校や地域を大切に思い貢献する心を育てる学習活動の工夫 ○効果的にICT機器を活用した学び 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の実践上の視点（4つ）を活かした授業づくり、教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・自己存在感の感受・共感的な人間関係の育成 ・自己決定の場の提供・安全・安心な風土の醸成 ○見通しをもって課題解決に向かう授業づくり ○振り返りから新たな問いが生まれ、次の学びへつながる授業づくり ○学びが将来に役立つことを実感する授業づくり（キャリア教育の視点、キャリアパス活用） ○SDGsの視点を取り入れた授業づくり ○自学自習力を育む授業と家庭学習の取り組み
地域家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝・早起き・朝ごはん ○主体的な家庭学習の取り組み ○学校応援サポーターの推進（保護者の積極的参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るいあいさつ、てくてく登校 ○授業参観、学校公開、情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域教育資源の計画的・効果的な活用 ○PTAとの連携

第2期
挑戦
自力解決

第3期
協働
対話

授業・体験活動・行事で育てる

学校経営（グラウンドデザイン）について（中段）

第1期
出会い・希望
めあて・見通し

第4期
成長・感謝
振り返り

次へつながるR-PDCAサイクル

「ポジティブな行動支援」の考え方を活かした指導・支援

認め合う学級風土づくり

学び・仲間・地域とつながる

単元・授業のマネジメント

	自他を尊重	情報を比較整理	最適解を見いだす
めざす子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を肯定する。 ○自分の意見や考えを持つ ○他者を肯定し、意見や考えを尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の意見や考え、周りの状況、様々な情報を材料に、根拠を持って 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの最適解を見だし、 ○行動する
取組の重点	<ul style="list-style-type: none"> ○共感的人間関係と支持的風土のある学級経営（QU、アセスの活用） ○自己肯定感を高める支援・指導 ○わからないと言える、失敗しても再挑戦できる風土 ○子供が主体的に企画運営する特別活動（学校行事、委員会活動、学級活動等） ○互いのちがいを認め合う人権教育 ○どこでもだれでも一貫した特別支援教育 ○命を守る危機回避能力を養う安全教育 ○ICT機器活用の知識・技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に向かう姿勢 ○「身につけさせたい力」を踏まえた授業 ○教科等横断的な魅力ある教育課程の工夫 ○わかる・できる・楽しいUDLの考え方を活かした授業 ○語彙指導（言の葉たいむ）の充実 ○主体的・対話的で深い学び（協働的な学びと個別最適な学び） ○学校や地域を大切に思い貢献する心を育てる学習活動の工夫 ○効果的にICT機器を活用した学び 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の実践上の視点（4つ）を活かした授業づくり、教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・自己存在感の感受・共感的な人間関係の育成 ・自己決定の場の提供・安全・安心な風土の醸成 ○見通しをもって課題解決に向かう授業づくり ○振り返りから新たな問いが生まれ、次の学びへつながる授業づくり ○学びが将来に役立つことを実感する授業づくり（キャリア教育の視点、キャリアパス活用） ○SDGsの視点を取り入れた授業づくり ○自学自習力を育む授業と家庭学習の取り組み
地域家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝・早起き・朝ごはん ○主体的な家庭学習の取り組み ○学校応援サポーターの推進（保護者の積極的参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るいあいさつ、てくてく登校 ○授業参観、学校公開、情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域教育資源の計画的・効果的な活用 ○PTAとの連携

第2期
挑戦
自力解決

第3期
協働
対話

授業・体験活動・行事で育てる

1 学校経営（グランドデザイン）について（中段）

自ら考え判断し行動する

第4期

1～3月

成長・感謝

- お世話になった人たちへありがとう！
- これまでの自分に起きた出来事にありがとう！
- ゆたかっ子よ、大志をいだけ！夢に向かって・・・

第3期

10～12月

協働

- 学び合い、教え合い、考え合う。人や社会とつながる喜び
- みんなの力で問題解決 みんなで協力しあって目標に向かう
- いろいろな個性とやさしさが集まってカラフルな世界

第2期

8～10月

挑戦

- 挑戦の数だけ可能性がある。目標において挑戦する
- 失敗は成功のチャンス！ころんだらすぐに立ち上がれ！（何度でもやり直すたくましさ）
- 一人一人の「個性」と「得意」と「好き」を伸ばす

第1期

4～7月

出合い・希望

- 自分のことは自分でできる（凡事徹底）
- 自分の目標をもち、計画を立てる
- 毎日が新しい出合い。笑顔であいさつ



竹は節のおかげで強い風にもたおされることがなく空へ向かってぐんぐん伸びていきます。節目を大切に一人一人の子どもに強い節をつくる学校教育をめざします。

学校経営（グランドデザイン）について（下段）

和顔愛語：支持的風土に満ちた居心地のよい学級づくり

率先垂範：教師は最大の「教育環境」

キーワードは

つながる

学びがつながる
人とつながる
明日へつながる教育活動



いじめ解消率100%
をめざして！



共にゆたかっ子の育ちを応援！

- 【凡事徹底】基本を身に付けよう
- 【切磋琢磨】共に成長しよう
- 【持続可能】新たな力を発揮しよう

協育

地域とともに
地域教育資源の効果的な活用
「ひと・もの・こと」
学校地域協働本部との連携

ゆたかっ子を育む七つの心得

家庭でも



- 一 笑顔と温かい言葉遣い
- 二 子どもの話をよく聞こう
- 三 失敗は成長のチャンス
- 四 子どもを信じ、まかせよう
- 五 子どものよさを伝えよう
- 六 結果だけでなく、
努力をほめよう
- 七 うちの子 よその子
みんな ゆたかの子

学校でも



郷育

保護者・児童・関係者による学校評価を生かした
学校教育

竹のようにすくすくと

知識は智慧に



想像は創造へ

- ・自分を大切に
- ・言葉を大切に

共育

保護者とともに
学校公開、教育活動報告
情報発信・連携・協力
学校応援サポーター
PTA 活動

つながる学校

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

(1) 児童一人ひとりの個性(特性)を踏まえた指導・支援

- ① 「みんなちがってみんないい」
- ② 「ポジティブな行動支援」の考え



児童の望ましい行動を育てる支援方法

望ましい行動を「賞賛や承認」で増やし、
結果的に望ましくない行動を減らそうとする。

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

(2) 学年職員の連携

職員 児童

職員 児童

- ① 1人で30人を見守る→4人で120人を見守る
（良さや課題に気づき、多様な働きかけ）
一部教科担任制（1～4年生以上）
学年担任制（5～6年生）
- ② 児童同士の交流（特別支援学級等）

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

(3) 学び・授業について

- ① 児童が**主体的**に取り組む学び
- ② **個別最適な学び**と**協働的な学び**
- ③ **自己調整学習**
- ④ 家庭学習
宿題と**自主学習**

(教育基本法)

学校教育

ここで、
ちょっと再確認！

第六条 法律に定める**学校は、公の性質を有する**ものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。

2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で**必要な規律を重んずる**とともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

(3) 学び・授業について

① 児童が**主体的**に取り組む学び

② **個別最適な学び**と**協働的な学び**

③ **自己調整学習**

④ 家庭学習

宿題と**自主学習**

そのために・・・

大人が**発想の転換**を！

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

(4) 失敗ができること（失敗を恐れず挑戦できる雰囲気）

① 自ら 考え 判断し 行動する



失敗するときもある



失敗から学び、成長する

（ 本田圭祐氏と松岡修造氏の対談 ）

本田圭祐氏が立ち上げた大会

→ 子どもたち自ら作戦・戦術を立てる

本田圭祐氏「今でリーダーがいなかった
グループにリーダーが生まれ
始めている」

本田圭祐氏 「負けた人や失敗した人に
日本はマイナスイメージを
貼る」
「失敗は必然で、必要なこと」

松岡修造氏 「僕はジュニアの子がミスしたら
ガッツポーズをしてもらっている」

2 学校経営（基本的な考え方）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

(4) 失敗ができること（失敗を恐れず挑戦できる雰囲気）

① 自ら 考え 判断し 行動する



失敗するときもある



失敗から学び、成長する

（ 本田圭祐氏と松岡修造氏の対談 ）

5、6年生における「学年担任制」の実施について (チーム担任制)



- 1 はじめに(学年担任制導入の背景)
- 2 学年担任制(チーム担任制)とは
- 3 学年担任制(チーム担任制)の目的
- 4 高学年で学年担任制を行う良さ
- 5 課題と対応等
- 6 その他(経緯と今後について)

3-1 はじめに(学年担任制導入の背景と経緯)

社会で求められる人物像が変化している

○ 少し前まで

あいさつができて、我慢強くて、協力ができる人材〔集団の一員〕

○ 今

自分で考えて行動できる、自己決定ができる人材〔主体性〕
変化に対応できる

それを受けて、学校でも

○ 児童の主体性や個性(多様性)を大切にした教育を行う必要



3-1 はじめに(学年担任制導入の背景と経緯)

これまでの本校の取り組み

○ 一部教科担任制(交換授業)

- ・授業の質の向上
- ・教員にとって、児童理解が広がった。
隣のカラスの子どもへの声かけ
- ・児童にとって、相談できる先生が増えた。



前ページに記載した社会の情勢と、本校のこれまでの取り組みを踏まえ、本年度は、高学年(5・6年生)において「学年担任制(チーム担任制)」を導入することとする。

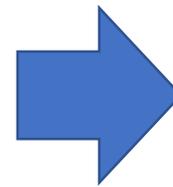
3-2 学年担任制(チーム担任制)とは

教員がチームになり、一人ひとりの子どもをチームで指導・支援する体制

具体的には、(本校の場合)

- 学級数+1名(専科)でチームを組む。
- 学級担任は教員が適切な間隔でローテーション。
- 授業は、教員が教科を分担(教科担任制等)

今まで
(学級担任制)



これから
(学年担任制)



3-3 高学年で学年担任制を行うことの良さ①

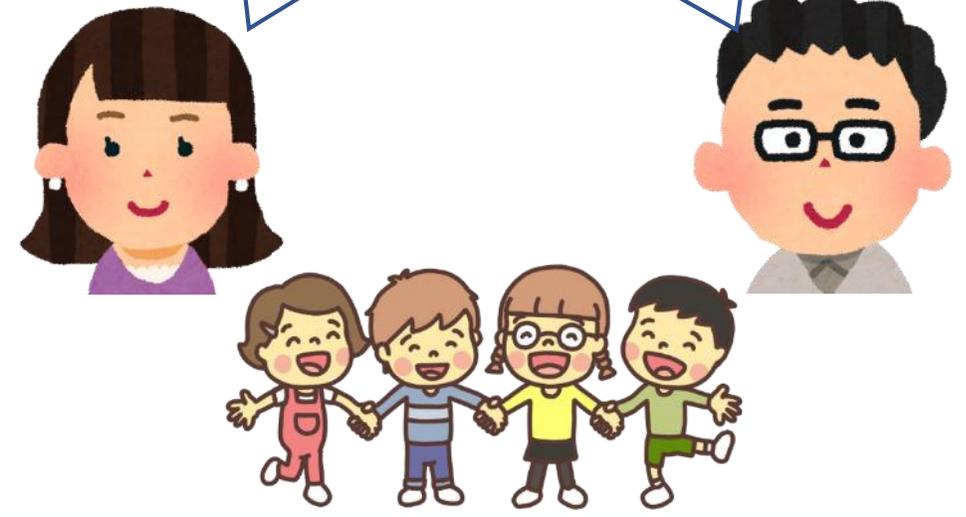
- 複数の教員で児童をみることができる。
→児童の多面的・多角的な理解と多様な関わり

〇〇さん、こういう良さがあるね。

そうそう。こういうこともあったよ。

〇〇さん、最近元気がない気がします…

私もそう感じます。注意深く様子を見ましょうね。



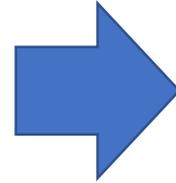
児童の良さや変化に気づく機会を増やす

3-3 高学年で学年担任制を行うことの良さ②

○ 児童の個性や主体性を引き出すことができる。

これまで(学級担任制)

良くも悪くも担任の個性に左右されることがある。



これから(学年担任制)

教員の多様な関わりから児童の個性や主体性を引き出す。

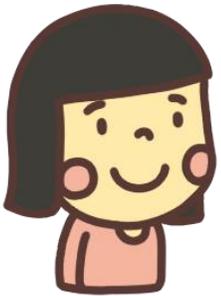


児童の主体性を引き出す

3-3 高学年で学年担任制を行うことの良さ③

○ 児童が、場面に応じて相談できる先生が増える。

先生、お友達のこと
で相談がある
んですけど...



どうした？何で
も言ってごらん。



先生、身体のこと
で相談がある
んですけど...



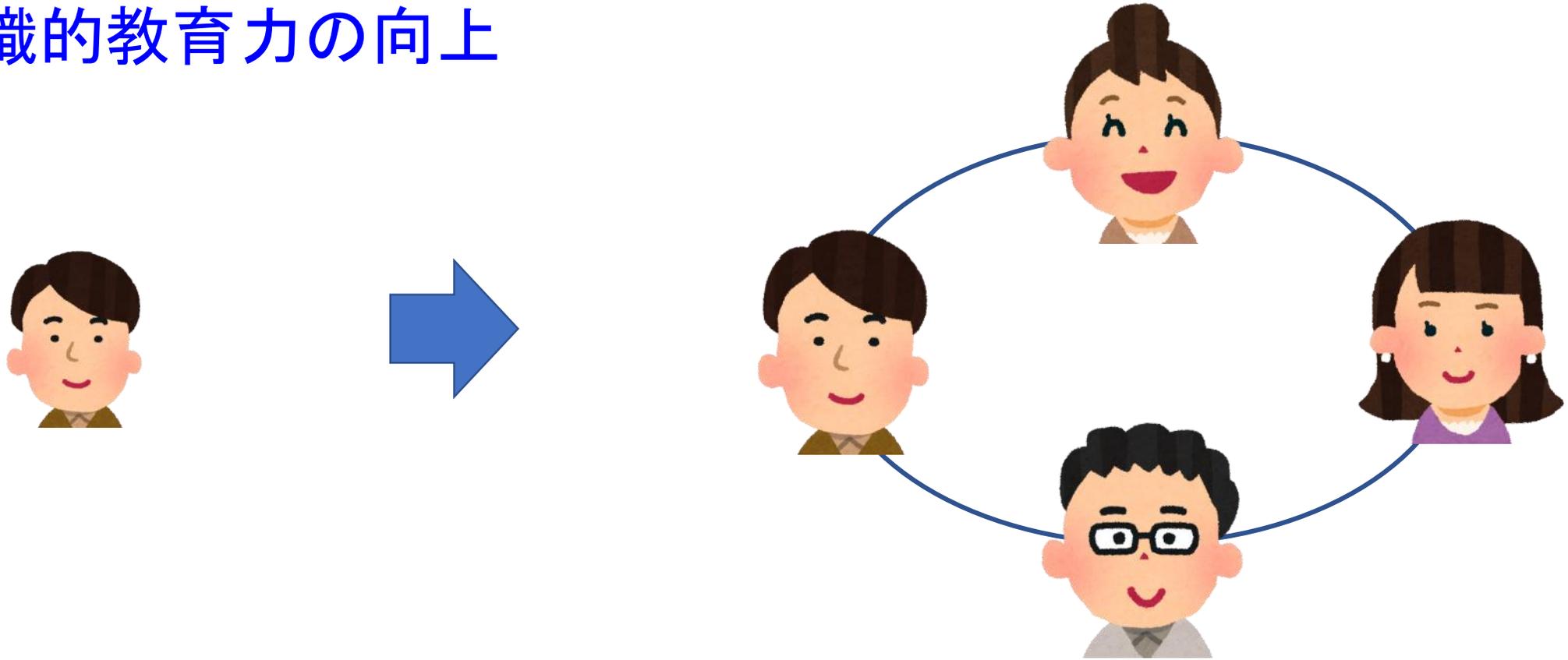
なあに？遠慮な
くどうぞ。



相談できる先生が増える

3-3 高学年で学年担任制を行うことの良さ④

- 教員の個性や得意を融合させることで
組織的教育力の向上

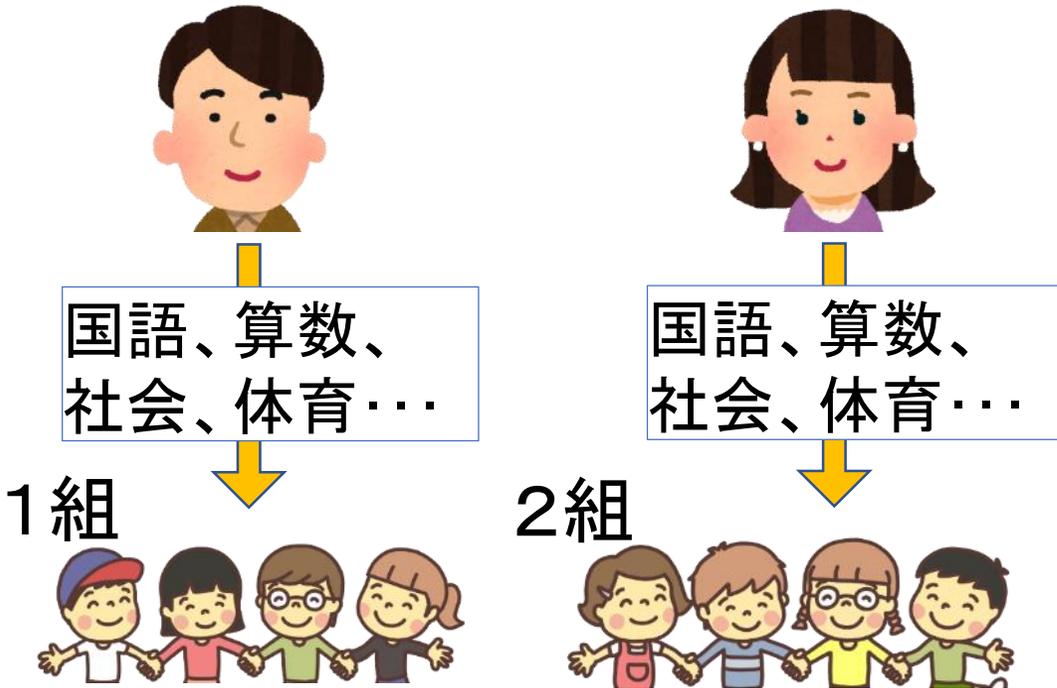


組織的な教育力のさらなる向上

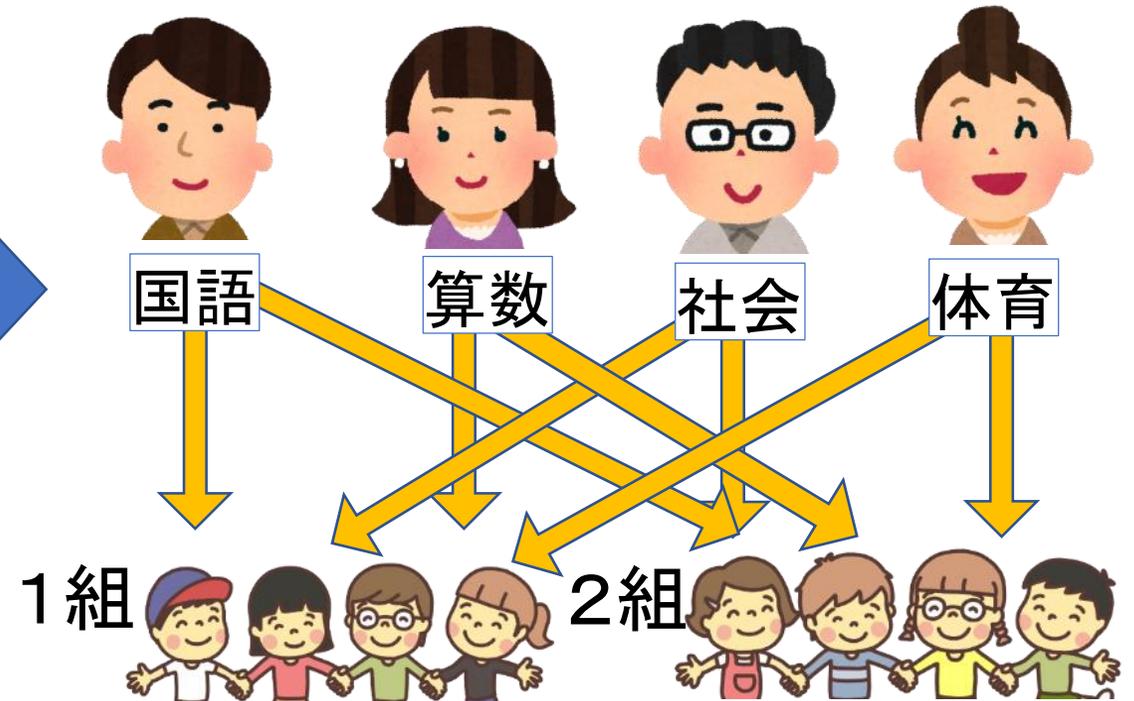
3-3 高学年で学年担任制を行うことの良さ⑤

- 教師が、教科を分担することで、授業の質の向上。
(丁寧な授業準備など)

これまで(学級担任制)



これから(学年担任制)



授業の質の向上

3-4 学年担任制の課題と対応等

課題

○ 学級担任と児童の密な関わりの減少

○ 保護者が、誰に相談すればいいのか

対応等

➡ ○ 複数の視点での多面的・多角的な関わりでカバー

➡ ○ 毎月の学年だより等で、各学級の窓口となる教員を連絡。
※相談内容によって、学年担任で協働または分担する等で対応します。

経緯について

- 令和5年10月・・・学年担任制の検討開始
- // 11月・・・校長による県外先進校視察
- // 12月・・・教員による検討委員会立ち上げ
- // 2月・・・教員3名による県外先進校視察
- // 2月・・・検討委員会で前向きな結論
- // 2月・・・校長が実施することを決定
- // 3月後半・・・実施学年決定

実施学年が決まるのが3月後半になったことから、保護者や児童への周知と説明が遅くなってしまいました。
お詫びいたします。

今後について(説明とアンケート)

○ 説明

児童への説明……4月11日(始業式の日)

保護者への説明……4月28日の日曜参観日

○ アンケート(3または4回)

児童と保護者(5・6年)

①4～5月 ②7月 ③11月(または12月) (④2月)

※ アンケートの結果を受けて、充実・改善の検討を行います。

4 お礼 そして 引き続きの協力依頼

(1) 学校教育へのご理解とご協力に感謝します。

- 日頃の学級担任等との連携
- P T Aとしての協力（クリーン活動等）
- 登下校時の安全見守り、立哨等
- 職員の勤務時間への協力
（朝の登校時刻、放課後の相談等）
- 行事の際のご協力
- その他、様々な場面でのご協力・・・

4 お礼 そして 引き続きの協力依頼



(1) 登下校時のお願い

- ① 児童は**7:50～8:15に登校**させて下さい。
- ② 車で送り迎えする場合は、**駐車場で乗り降り**をさせた上、校内道路は**最徐行**でお願いします。
- ③ 可能な時に、登下校時の見守りをお願いします。
(自宅や学校周辺での交通安全・不審者対応等)

4 お礼 そして 引き続きの協力依頼

(2) 教員が本来の仕事(授業等)に注力するためのお願い

お願いの前に・・・

なぜ、教員の働き方改革が必要なのか・・・

① 目の前の児童に十分対応したい。

授業づくり、子どもへの対応・・・

② このままでは、将来の学校は破綻する・・・！？

・慢性的な教員不足とその拡大

・県小学校教員採用試験 平成23年・・・8.1倍

令和5年・・・2.8倍

4 お礼 そして 引き続きの協力依頼

(2) 教員が本来の仕事(授業等)に注力するためのお願い

- ① 学校職員の勤務時間は8:15～16:45です。
相談等はこの時間内をお願いします。
- ② 校外での出来事は、保護者または地域の方で
対応をお願いします。
- ③ 携帯電話（スマートフォン）は、保護者の方で
責任を持って、児童に持たせて下さい。

はじめに

家庭、学校、その他（地域等）で

協力・分担して、

児童の健全育成を図ることができればと考えています。